

華

第34号

平成 18 年 1 月発行

奈良県立医科大学附属病院
看護部教育委員会

平成 14 年度

第 2 部

看護研究発表集録

目 次

第1部 教育講演抄録

1. 院長として看護部に望むもの

奈良県立医科大学附属病院 院長 吉 岡 章 7

2. 泣き笑いガン日記 落語家 笑福亭 小 松 8

3. 考古学を楽しく知る 奈良県立橿原考古学研究所副所長 河 上 邦 彦 9

4. 患者様とのよりよいコミュニケーションをめざして

大原マネジメント研究所所長 大 原 義 子 10

5. 年頭にあって 奈良県立医科大学附属病院看護部長 森 本 智磨子 11

第2部 看護研究発表集録

1. 経鼻挿管中患者の鼻翼部の皮膚トラブル予防の検討

—— ストマケア用皮膚保護材を使用して ——

救命救急センター 藤 田 尚 子 13

2. NICUにおける家族の育児参加の一環として

—— 保育器カバーの作成を両親に働きかけて ——

A棟4北西 懸 尾 知 子 18

3. ギプス固定が必要な患者様のシャワー浴に伴う不快感の早期改善方法について

—— 考案したギプス冷却用具を用いて行った6名の基礎実験結果から ——

B棟4階 藤 田 亜 也 23

4. 6時間安静に伴う疼痛緩和を目的とした物品の検討

B棟5階 辻 本 啓 子 28

5. 安全・安楽に移乗できる足台付車椅子の作成

—— スタッフ20名への追体験とアンケート調査からの検討 ——

A棟7階南 中 村 裕 美 34

6. 与薬ミス防止におけるハットヒヤリメモの活用と業務改善の効果

A棟4階南 北村昌子 39

7. 転倒・転落防止に向けての取り組み

— チェックリストとアンケートを用い看護師の意識調査を行った結果より —

B棟7階 灰野菜穂子 44

8. 当輸血部における貯血式自己血採血の現状と問題点

— 1年間の採血データの分析より —

輸血部 吉川洋子 49

9. 開心・開胸術後の術後痛と離床行動の関連性

— STAIとVASを用いての検討 —

A棟4階北東 浅田摩耶 54

10. 皮下注射施行における疼痛の緩和

— アイスノンでの冷却方法を用いて —

A棟5階南 二宮歌織 59

11. リザーバー留置による日常生活への支障および精神的負担

— リザーバー留置患者13名のアンケート結果より —

放射線病棟 吉田亜希 63

12. PCAを用いた術後疼痛管理への患者教育を試みて

— B病棟6階で手術を受けた患者33名へのアンケートを実施して —

B棟6階 小川圭子 68

13. 当手術室入退室ホールにおけるアメニティ構成要素に基づいた改善とその効果

— カーテン、BGM、絵画を取り入れて —

中央手術部 大谷和恵 73

14. 分娩後初回歩行開始時間の検討

— 分娩後2時間での歩行を試みて —

A棟5階北 浮本要 78

15. 小学生高学年へのドナーアクション

— 臓器移植に関する学習会と意識調査 —

A棟6階南 西智美 84

16. 新卒看護師のリアリティショックの症状とストレスとの関連

B棟8階 辻本理香 89

17. 成人期の患者と受け持ち看護師の信頼関係確立を目指して			
—— ウィーデンバックの看護のための規定理論を用いた一事例 ——			
	南 3 階	岡 和 美	94
18. 長期入院の痴呆性老人をもつ家族への看護			
—— カルガリー家族看護を用いて ——	D 病棟	永 野 由美子	100
19. 術後せん妄を起こす術前要因			
—— 心臓血管・呼吸器外科において全身麻酔下の手術を受けた 109 名の調査より ——			
	A 棟 6 階北	松 浦 未 果	105
20. 老人性白内障患者の自己点眼確立に向けて			
—— チェックリストの見直しと早期からの自己点眼指導を試みて ——			
	A 棟 7 階北	勝 良 敬 子	109
21. 外来血管造影検査の検査説明用紙の問題と改善点			
—— 患者アンケート調査を実施して ——			
	中央放射線部・中央内視鏡部	高 尾 敏 江	113
22. 循環器・腎臓・代謝内科病棟で実施されている健康教室の実態調査			
—— 患者 60 名にアンケート調査を行って ——	南 2 階	池 田 裕 美	118

第 3 部 その他

1. 平成 14 年度教育委員会活動計画		123
2. 平成 14 年度看護部院内教育実施状況		124
3. 平成 14 年度看護研究発表状況（院外）		126
4. 平成 14 年度院外研修会・講習会受講者数		127
5. 平成 14 年度各種学会・研究会参加者数		128

編 集 後 記

「葦」34号の発刊にあたり寄稿していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

大変おそくなったことをおわびいたします。

今後「葦」がますます根強く成長するようお祈りいたします。

平成 18 年

教育委員

岡 本 千鶴子

宮 本 登志子

橋 口 智 子

平成 14 年度

葦

編 集 奈良県立医科大学附属病院
看護部教育委員会

発 行 奈良県立医科大学附属病院

住 所 〒 634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地
TEL. 0744 - 22 - 3051

印 刷 吉村印刷社
